

市長コラム

日っ初っ心

秋田市長 ● 穂積 志(もとむ)



永原選手(左)と松本選手と一緒に。健闘を称えて、名入りの提灯を進呈しました。2人からは、オリンピックマーク入りの名刺入れを記念にいただきました。

ありがとう、ナガマツペア

最近、時間を見つけてはさままざまなコースで散歩を楽しんでいます。先日、まだまだ強い日差しの中、田んぼの稲穂に目をやると、色は青々としていているものの実はしっかりとつまっているように見えて、季節が確実に秋へと向かっていることを肌感じます。

さてこの夏の東京オリンピックでもアスリートたちの数々の名言が生まれました。中でも特に印象に残っているのは、リオデジャネイロ大会に続き連覇を果たした柔道の太田将平選手の「賛否両論があることは理解しています。ですがわれわれアスリートの姿を見て、何か心が動く瞬間があれば本当に光栄に思います」の言葉です。大野選手はリオ大会優勝後、何のためにやっているんだろうと自問自答する日々だったと苦しんだことも吐露し、連覇したその日のことを「苦しくてつらい日々を凝縮したような1日の戦いだ」と振り返

返っています。コロナ禍にあつてオリンピック中止も覚悟し、かつ、こうした苦しみを乗り越えて内面から溢れ出たかと思うと、最初の言葉がなおさら重く心に響きます。そして何より心から「ありがとう」と言いたい2人がいます。バドミントンの準々決勝で、数回のマッチポイントを迎えながらも、あと一歩及ばなかった永原和可那、松本麻佑の両選手です。北海道出身で秋田との縁はありませんでしたが、インターハイなどで活躍する2人を北都銀行の原田利雄総監督がスカウトしたことをきっかけに、7年前秋田市を拠点に競技生活を送るスタート。佐々木翔監督などの指導のもと着実に力をつけ、世界ランク2位でこのオリンピックに臨みました。

その2人が戦いを終えた先月6日、報告のため市役所に来てくれました。そのときの言葉を紹介します。永原選手は「大会期間中も

秋田のかたがたの
声援が届いて大き
な力となった。秋田に帰ってから
も、お疲れ様、ありがとう、と声
をかけていただき大変感謝してい
る」。加えて松本選手は、「この訪
問でも市役所のデジタルサイネー
ジに大きく映してもらい、愛され
ているなど感じる事ができた。
今後のことは決めていないが、何
らかの形で秋田に恩返ししたい」。

私からも、「常に心の糸を張り詰めていては、いつか糸は切れてしまう。まずはしっかりと休養をとる力を養ってほしい。選手として、あるいは後輩の育成など、引き続き秋田に関わりを持っていただければうれしい」とねぎらいました。市民・県民がテレビの前で心を一つに応援できたこと。2人の競技に対する真摯な姿勢は、結果以上に私たちに感銘を与えてくれたと思います。



デジタルサイネージ画面

◆市長の動向などは、市ホームページでお伝えしています。https://www.city.akita.lg.jp



提灯の火をランタンへ移す穂積市長



「東京2020パラリンピック」聖火に竿燈の火
 竿燈は、真夏の病魔や邪気を払う「ねぶり流し」を原型とする行事で、健全な肉体と精神を守る神様が宿るとも言われていることから、パラリンピック出場選手の身体と精神を守り、活躍を祈念する意味を込めて、その提灯の火を聖火へと採火したものです。

スポーツ振興課

☎(888)5611

雇用にはずみ！ 誘致企業

秋田県と秋田市は、新たに次の4社を誘致企業として受け入れることを発表しました。詳しくは、市ホームページをご覧ください。◆広報ID番号 1008749

問い合わせ▶企業立地雇用課☎(888)5733

企業名
 株式会社 foriiio Akita branch



オンライン画面が、株式会社 foriiio Akita branchの山田寛仁代表取締役CEO (7月27日)

事業所の概要

業種▶システム開発
 事業内容▶アプリケーション開発、運用サポート、デザイン制作など。今年7月、チャレンジオフィスあきた内に開設。従業員は操業時1人、将来計画7人の予定

企業名
 株式会社 ショウワ秋田イノベーションセンター



中央が株式会社ショウワの藤村俊秀代表取締役(8月2日)

事業所の概要

業種▶研究・開発
 事業内容▶甲殻類の上皮から抽出するキトサンを原料とした土壌改良剤の開発など。今年7月、秋田県産業技術センター内に開設。従業員は操業時2人、将来計画10人の予定

企業名
 株式会社 こまちソフトウェア



オンライン画面が、株式会社こまちソフトウェアの福嶋勝浩代表取締役 (7月30日)

事業所の概要

業種▶システム開発
 事業内容▶システム受託開発、自社製品システム研究・開発業務など。今年10月、アトリエアルヴェ内に開設。従業員は操業時1人、将来計画10人の予定

企業名
 株式会社 ハルメク・ビジネスソリューションズ秋田支社



オンライン画面中央が、株式会社ハルメクホールディングスの宮澤孝夫代表取締役社長、右が株式会社ハルメク・ビジネスソリューションズの森 真太郎代表取締役社長、左が雑誌「ハルメク」の山岡朝子編集長(8月4日)

事業所の概要

業種▶コールセンター
 事業内容▶コールセンター、発注、在庫管理などのフルフィルメント(注文を受けて荷物を届けるまで)サービスの運営・提供。今年10月、秋銀・明治安田ビル内(中通)に開設。従業員は操業時54人、将来計画138人の予定

▶株式会社ハルメクホールディングス、株式会社ハルメク・ビジネスソリューションズと、県・市は立地協定を締結しています